

第125回日本眼科学会総会

ランチョンセミナー13

日時▶2021年4月9日(金) 12:35~13:35

会場▶第4会場(大阪国際会議場 10F 1004~1007)

広角眼底撮影装置を用いた 画像診断の進歩

座長のことは

近年のトレンドといっても過言ではない広角眼底撮影装置が多くの先生方に活用され始めた今、広範囲かつ鮮明な画像を容易に取得し、詳細な診断や経過観察が可能となったことで、眼科診療がより効率的におこなえるようになりました。

そこで今回のセミナーでは「広角眼底撮影装置を用いた画像診断の進歩」をテーマに、広角眼底撮影装置の特徴を理解すると同時に、より効果的に活用するためのノウハウを経験豊富な二人の先生方から解説いただけます。

まず大音 壮太郎先生(京都大学)には、広角/標準画角撮影時のポイントや、黄斑疾患カラー眼底と自発蛍光など、他の検査を組み合わせた診断について症例を交えて解説いただけます。次に大野 京子先生(医科歯科大学)には、強度近視、病的近視を中心とした疾患の広角眼底所見による注意すべき観察ポイントや、広角眼底撮影装置の新たな活用法についてお話しいただきます。

明日からの眼科診療に役立つお話が聞けるものと楽しみにしております。多くの先生方のご来場を心よりお待ちしております。



座長

Kenji Takahashi

高橋 寛二先生

関西医科大学眼科学教室 主任教授



演者

Sojiro Oono

広角マルチモダルイメージング Mirante画像を読む

大音 壮太郎先生

京都大学大学院医学研究科眼科学教室 講師



演者

Kyoko Ohno - Matsui

全く新しい広角眼底画像の世界へ; ミランテの真髄を探る

大野 京子先生

東京医科歯科大学眼科学教室 教授

当日ご参加いただけなかった場合や、リアルタイムにご覧いただけなかった場合にはオンデマンド配信をご準備しております。オンデマンド配信:2021年4月28日(月)~ 5月10日(月)(予定)

共催:第125回日本眼科学会総会
株式会社ニデック